

平成25年度 PF-UA 総会 議事録

日時：平成26年3月19日 15:15～16:15

場所：つくば国際会議場エポカル 中ホール 300

・正会員の1/50以上の出席者数があり、会則18条の規定により本総会が成立することを確認した。

・会則16条により、議長の選出を行った。推薦により、尾嶋氏が議長となった。

・PF-UA 幹事からスライド資料に基づき報告が行われた。

・会計幹事報告（佐藤会長 代行）

運営委員会により承認された、平成25年度途中までの会計の説明があった。収入は予定通りであり、支出についてもPF-UA、およびフェスタについてはほぼ予算どおり執行されている。

・広報幹事報告（佐藤会長 代行）

PF-UA ロゴマークについて紹介があった。デザイナーに相談し、PFのユーザーグループであることがわかりやすいマークを作成した。カラーリングはPFのロゴマークをベースに、そこから直線が伸びて、ユーザーに広がるイメージで作った。ロゴマークは下部に文字あり・文字なしの2つを使い分けることができる。

・共同利用幹事報告（篠原幹事）

P型課題の規定変更について答申内容を報告した。答申では経験者排除条項を除く、ビームタイム申請を随時受け入れるという変更の方針を支持した。次いで、ビームタイム削減についてのアンケート結果について報告があった。アンケート結果については2/24にビームタイム確保に関する要望書をKEK 機構長へ出した際に別添資料として出されたことが報告された。今後もPF-UAとして、ユーザーの声を集約し、事態の改善の訴えを継続する方針が報告された。

・選挙管理幹事報告（沼子幹事）

次期会長選挙について報告があった。運営委員から三名の会長候補者の推薦があり、そのうち二名が辞退したため、候補者一名の信任投票となった。Web投票の結果、平井光博先生（群馬大学）が次期会長として選ばれた。平井次期会長は、2015年度は副会長としてPF-UAの運営に参加していただく。

・行事幹事報告（清水幹事）

物構研サイエンスフェスタ開催について報告があった。物構研サイエンスフェスタは、MFL懇談会との共催で、PF-UAは学生賞、朝食の支給、企業展示について所掌した。参加人数が453名のうち、PFシンポジウムが257名、MLFシンポジウムが135名への参加だった。（重複している出席者もあり。）

・戦略・将来計画報告（佐藤会長 代行）

マシンタイム削減に対して、機構長に要望書とビームタイム削減に関する緊急アンケート結果を提出したことが報告された。BL4A の運営変更についての経緯説明があった。ユーザー運営化に対する最大限のサポート、今後の同様の事例については早期にユーザーに通知をすることなど5点の要望書を施設に提出したことが報告された。放射光科学の将来像への提言の作成経過について報告があった。提言の要旨案について会場から出された意見を踏まえて、今後提言の要旨を改訂し、パブリックコメントの募集を経て、2015年度の概算要求に間に合うよう提言を取りまとめていく方針が確認された。